

2022年度 日本工学院専門学校											
デザイン科／インテリアデザイン専攻											
総合実習 3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	角田光代			実務経験	有	職種	インテリアデザイナー				
担当教員紹介											
建築士として、住宅・店舗の意匠設計に12年間携わり、インテリアデザインにこだわる仕事をしてきました。現在は専任教員として自身の経験をインテリアデザインへの興味が広がる授業になるよう展開しています。											
授業概要											
この授業では、課題条件がある中で空間デザイン提案を行うが、実務を想定したワークフローで進め インテリアコーディネーターとしての仕事をリアルに理解できるようにする。寸法や空間サイズ感、商品知識、トレンドなど実務に必要な知識を高める。 〈最終成果物：コンテストに応募〉											
到達目標											
課題条件をもとに、テーマを設定しコンセプトを立てられる。他者にイメージがしやすい図面の作図ができる。 インテリアエレメント、マテリアルの選定ができる。プレゼンテーションボード・マテリアルボードの制作ができ、他社に意図を伝えられる表現方法の幅を広げる。											
授業方法											
課題の理解、テーマ、シーンを立てる、コンセプト立案→インテリアエレメント、マテリアルの選定 →空間伝達方法（作図、3D、パースの作成）→プレゼンテーションボード、マテリアルボードの作成											
成績評価方法											
プレゼン 課題完成度 リサーチ・作業 平常点	20% 40% 20% 20%	制作物の発表方法、内容について評価する 提出課題完成度を総合的に評価する 制作準備と過程を評価する 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
授業に出席するだけでなく、制作にあたっては各自で授業の事前準備と事後のフォローを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。											
教科書教材											
製図道具、ノートパソコンなど 資料は必要な時に配布											
回数	授業計画										
第1回	課題説明 / 課題条件の理解、コンテストの取組みの仕方										
第2回	プランニング / アイデア出し、インテリア素材の使い方										
第3回	プランニング / アイデア出し、空間として捉えた場合どうなる？										
第4回	プランニング / アイデア出し、空間として捉えた場合どうなる？										
第5回	商品選定 / マテリアル選定										

2022年度 日本工学院専門学校	
デザイン科／インテリアデザイン専攻	
総合実習 3	
第6回	商品選定 / マテリアル選定
第7回	提案検討、作図、制作 / パース、模型、CGなど 立体的に伝わる方法で制作
第8回	提案検討、作図、制作 / パース、模型、CGなど 立体的に伝わる方法で制作
第9回	提案検討、作図、制作 / パース、模型、CGなど 立体的に伝わる方法で制作
第10回	提案検討、作図、制作 / パース、模型、CGなど 立体的に伝わる方法で制作
第11回	プレゼンテーション / 応募条件に従った形式にボードをまとめる
第12回	プレゼンテーション / 応募条件に従った形式にボードをまとめる
第13回	プレゼンテーション / 応募条件に従った形式にボードをまとめる
第14回	プレゼンテーション / 応募条件に従った形式にボードをまとめる
第15回	仕上げ、応募